【教育委員会定例会】会議録

| | | | |
|---|---|---|---|
| 会　議　名 | 令和８年第７回教育委員会定例会 | | |
| 事　務　局 | 教育指導部教育政策課 | | |
| 開催年月日 | 令和８年７月１０日（金） | | |
| 開 催 時 間 | 午後３時００分　～　午後３時３５分 | | |
| 開 催 場 所 | 教育委員会室 | | |
| 委員の出席 | 中村　明慶　教育長 | 久保田　善彦　委員 | 土肥　和久　委員 |
| | 大井　欣一　委員 | 岩壁　三枝子　委員 | |
| 出席説明員 | 田巻　正義　教育指導部長 | 秋元　康裕　教育政策課長 | 神家満　麦　学校ＩＣＴ推進課長 |
| | 蜂谷　勝己　学力定着推進課長 | 大平　達也　教育指導課長 | 毛利　正成　不登校施策推進担当課長 |
| | 吉尾　文彦　こども支援センターげんき所長 | 谷内　新哉　支援管理課長 | 芳賀　優美子　教育相談課長 |
| | 絵野沢　秀雄　学校運営部長 | 物江　耕一朗　学校支援課長 | 小木曽　弘規　学校施設管理課長 |
| | 武内　新之介　学校適正配置担当課長 | 松本　令子　学務課長 | 西島　誠　青少年課長 |
| | 楠山　慶之　子ども家庭部長 | 樋口　清二　子ども政策課長 | 澤田　好　子ども施設指導・支援課長 |
| | 齊藤　ひろみ　保育・入園課長 | 芝戸　拓矢　私立保育園課長 | 眞鍋　亜砂美　幼稚園・地域保育課長 |
| | 久保田　夏恵　学童保育課長 | 小森　涼子　こども家庭相談課長 | 大山　日出夫　生涯学習振興公社事務局長 |
| | 飯塚　論　生涯学習振興公社学習事業部長 | 茂木　聡直　地域のちから推進部長 | 江連　嘉人　地域文化課長 |
| | 天野　健司　スポーツ振興課長 | 福本　慎二　中央図書館長 | |
| 書　　記 | 日森　達也　教育政策担当係長 | 川村　淳一　教育政策担当係長 | 高木　孝輔　教育政策担当主任 |
| 欠　席　者 | なし | | |
| 傍　聴　者 | ０名 | | |
| 会 議 次 第 | 別紙のとおり | | |
| 資　　料 | 別紙のとおり | | |
| そ　の　他 | | | |

令和８年７月１０日

# 第７回足立区教育委員会

午後３時００分開会

○教育長　ただいまから、本年第７回足立区教育委員会定例会を開会いたします。

本日の出席委員数は定足数であります。よって、会議は成立いたします。

それでは、これより審議に入ります。

――――――――◇――――――――

○教育長　初めに、会議録署名員の指名をいたします。

本日の会議録署名員に、大井委員、岩壁委員をご指名いたしますので、よろしくお願いいたします。

日程第１、第５４号議案から日程第６、第５９号議案までは、足立区教育委員会会議規則第１４条第１項のただし書による人事に関する事件、その他の事件でありますので、非公開の会議としたいと思います。

お諮りいたします。第５４号議案から第５９号議案までにつきまして、非公開とすることに賛成の方の挙手をお願いいたします。

（挙手全員）

○教育長　挙手全員であります。よって本議案につきましては非公開とさせていただきます。

----------（非公開議案審議中）----------

次に、請願の審査に入ります。７受理番号１「足立区における小学校への自閉症・情緒障害特別支援学級の設置及びスモールステップルーム設置を求める請願」については、前回は継続審査となっています。各所管から何か変化があれば、説明をお願いします。

支援管理課長。

○支援管理課長　現在のところ、特段変化はございません。

○教育長　それでは、７受理番号１の請願についてご意見、ご質問がありましたら、委員のご発言をお願いいたします。ご質疑はございませんか。

この案件については、前回もそうでしたが、現在、所管課において、特別支援学級の設置等について検討会議を継続して実施しておりますので、引き続き、その結果を踏まえて審査を進める必要があると考えます。

本件は、継続審査とすべきと考えますが、いかがでしょうか。よろしいでしょうか。

では、ほかに意見がなければ、採決に移りたいと考えます。よろしくお願いいたします。

本請願は、継続審査とすることに賛成の方の挙手を求めます。

（挙手全員）

○教育長　挙手全員であります。よって、本案は継続審査とすることにいたします。

次に、日程第７「教育長報告」を議題といたします。

今回は、各担当からの報告事項に代えさせていただきます。ご質疑等は全ての報告が終了しましたら、一括で頂くようお願いいたします。

それでは、（１）について、大平教育指導課長、お願いします。

教育指導課長。

○教育指導課長　資料２ページ、「令和８年度ＳＳＲ（スモール・ステップ・ルーム）の新規開設について」です。

ＳＳＲにつきましては令和７年度までに中学校１０校で開設し、令和８年度はこれに加え中学校１５校で開設いたしました。残り１０校については令和９年度の設置に向けて準備を進めており、令和９年度中に中学校３５校全てにＳＳＲを設置する予定です。

本年度新たにＳＳＲを設置した学校につきましては、項番２（１）に記載しておりますので、ご覧ください。

続いて資料４ページをご覧ください。「今後の方針」でございます。今後は、利用生徒の実態に応じた支援や利用生徒の保護者への対応を強化するため、

不登校対応巡回教員の資質向上に向けた連絡会を実施いたします。また、利用生徒、保護者及び教員に向けてアンケート調査を実施し、設置校における効果及び課題を把握してまいります。

○教育長　次に、（２）について大山生涯学習振興公社事務局長、お願いします。

公社事務局長。

○公社事務局長　それでは「令和７年度公益財団法人足立区生涯学習振興公社の収支決算及び主な取組について」をご報告いたします。

事業概要・収支決算説明書をご覧ください。資料１ページの１「概要説明」、２「組織機構図」、３「経営方針」等については記載のとおりです。

資料２ページをご覧ください。公社の一番大きな事業である「あだち放課後子ども教室」の事業内容です。

項番１、開催状況です。延べ実施日数、延べ参加児童数については、前年を上回っておりますが、活動スタッフ数は前年より５名減少しております。

毎月、広報「トキメキ」で活動スタッフを募集しておりますが、この４月から生涯学習振興公社のインスタグラムとＸを開設いたしましたので、そちらでも募集をかけてまいります。

項番２の「各実行委員会への支援」（４）「スタッフへの安全管理講習会および研修の実施」です。このスタッフ研修は毎年参加人数が少ないため、令和７年度から安全管理講習会に日程を合わせて、大学教授の授業をビデオで上映するという形の研修を実施しております。

資料３ページ、イ「小学校アウトリーチコンサート」です。プロの演奏家が小学校に出向いて３年生を対象に実施するアウトリーチコンサートですが、こちらは学校からの応募が非常に多いため、令和７年度から一部民間委託を入れ、１６校４０クラスで実施いたしました。

資料４ページ、エ「０歳からのファミリーコンサート」です。主に乳幼児とその家族を対象に実施するコンサートです。こちらも非常に人気が高いため、午前午後の２回の実施とし、参加可能な人数を増やしました。

資料５ページ、オ「コンサートｉｎミュージアム」です。「石洞美術館」「わたなべ音楽堂」の２カ所で、それぞれ２回ずつコンサートを実施いたしました。

資料８ページ、正味財産増減計算書ベースでの収支決算です。

まず、経常増減の部ということで（１）経常収益でございます。資料８ページ＜１４＞、令和７年度の経常収益は２億９，１０２万６，６３１円です。

収益の減要因として大きいのが＜９＞の「受取区補助金」です。こちらは職員の退職により減っております。一方、収益の増要因として大きいのが＜７＞の「受託事業収益」です。放課後子ども教室事業の委託料が増えております。経常収益計としては前年度から５７６万２，７６４円の減となっております。

資料９ページ、１０ページは、経常費用の内訳です。給料手当、福利厚生費、退職給付費用、賃金等が減額となっております。＜２９＞の諸謝金は増額となっておりますが、これは小学校アウトリーチコンサート回数の増加に伴うものです。また、資料１０ページ＜３９＞通信運搬費ですが、ＮＨＫの受信料遡及支払として１００万円余を支払っております。

資料１１ページ＜５２＞、経常費用計は２億９，３２１万５０４円です。収入から支出を引いたものが＜５３＞でして、令和７年度はマイナス２１８万円余となっております。

最終的に一般正味財産期首残高からこのマイナス分を引き、１５億円の指定正味財産を足したところ、正味財産期末残高は、１７億２，７０５万２，４９５円となっております。

以上でございます。

○教育長　ただいま、各所管から報告事項がございました。この件につきまして、各委員からご意見、ご質問がありましたら、ご発言をお願いいたします。いかがでしょうか。

久保田委員。

○久保田委員　「令和７年度公益財団法人足立区生涯学習振興公社の収支決算及び主な取組について」についてです。放課後子ども教室の民間委託が始まったということですが、民間委託後の状況について教えていただけますか。

○教育長　青少年課長。

○青少年課長　利用人数は実行委員会形式の時と比べて３．７倍程度増えており、実施日数も増えております。

○教育長　公社事務局長。

○公社事務局長　年に１回ないし２回、運営委員会というものを公社で開催しております。そこで他校にも民間委託後の状況等を共有してまいります。

○久保田委員　ありがとうございます。

○教育長　土肥委員。

○土肥委員　「令和７年度公益財団法人足立区生涯学習振興公社の収支決算及び主な取組について」についてです。放課後子ども教室が始まってもう２０年近くたっており、当時からいるスタッフも当然２０歳、年を取っています。子ども好きの方が本当に一生懸命やってくれたからこそ継続できている事業ですが、ここから先のことを考えると、うまく民間委託に移行していったほうが良いと思います。

民間委託をすると今まで勤務していたスタッフがいなくなってしまうといった誤解をされていることもあるかもしれませんので、ぜひ民間委託の好事例を共有し、移行を進めていただければと思います。

○教育長　青少年課長。

○青少年課長　委託検討対象校には、参考になればと既に委託化した３校を見学していただきました。委託後も希望する旧スタッフは全員新スタッフとして残れますし、実際に半分程度は新スタッフとして残っているという状況もお伝えしながら、引き続き交渉してまいります。

○教育長　土肥委員。

○土肥委員　もう一点、「令和８年度ＳＳＲ（スモール・ステップ・ルーム）の新規開設について」です。ＳＳＲの意義や意味を、管理職を含め教員一人一人が本当に理解しているのか、心配しています。

というのは、ＳＳＲの中は完全に個室になっているので、生徒たちがただ寝転がっているだけの部屋なのではないかという誤解が生まれやすいですし、そこで勤務している者の意識の差で、学校間格差が出てくることが予想されます。

例えば、登校した生徒がその日にやりたいことをスケジュール表に書き、一日の最後にその反省を書いて振り返る学校もあるのに対して、余りいい話を聞かない学校もあります。あと最低１０人は先生が必要ですので、指導内容のマニュアル化や好事例の紹介により、ぜひ先生の質を担保する工夫をお願いしたいです。

○教育長　教育指導課長。

○教育指導課長　ＳＳＲの大きな目的は、生徒が学校に来やすくなる環境を作るというものです。少しでも学校に来ていただき、それができたら、教室復帰や自分の目標に向けて取り組んでいくということが次の目標になります。

こういった主旨を学校管理職や教員にしっかり理解していただきながら、好事例につきましては連絡会等で共有してまいります。以上です。

○教育長　大井委員。

○大井委員　「令和８年度ＳＳＲ（スモール・ステップ・ルーム）の新規開設について」です。一つの学校に対し、学校に常駐している方が週４日出勤し、学校間を巡回する方が週１日出勤するという勤務形態になっているということですが、学校間を巡回する方は専門性の高い方が選ばれていますので、ぜひリーダー的な存在になっていただければと思います。学校に常駐している方と学校間を巡回する方との連携が取れてくると学校間のレベルが一定に近づいていくと思いますので、よろしくお願いいたします。

○教育長　教育指導課長。

○教育指導課長　学校に常駐している方は非常勤の会計年度任用職員、学校間を巡回する方は正規教員になります。学校間を巡回する方は５校に１名という

形で配置しており、担当校の不登校の生徒の状況や家庭へのアプローチ、先生との連携といった業務を担っております。委員のお話のとおり、学校に常駐している方との連携も重要な業務ですので、しっかり指導ができるような仕組みを構築してまいります。

○大井委員　よろしくお願いします。

○教育長　よろしいですか。ほか、いかがでしょうか。

よろしいですか。

それでは、そのほかに何かございますか。

ないようですので、以上をもちまして、本年第７回足立区教育委員会定例会を閉会いたします。お疲れさまでした。

午後　３時３５分閉会